



Takubi



2

2019

February



私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。

平成31年1月12日印刷 平成31年1月15日発行
「拓美」第57巻 2月号 通算639号

群鶯書道会

群鶯書道会ホームページ
<https://www.gunga-takubi.com>



【釈文】馬上逢寒食途中屬暮春可憐江浦望不見洛橋人

千葉香仙先生書

馬上逢寒食途中屬暮春可憐
江浦望不見洛橋人

字之曰詩・口

宋之間詩（八分隸）

小沼典弘書

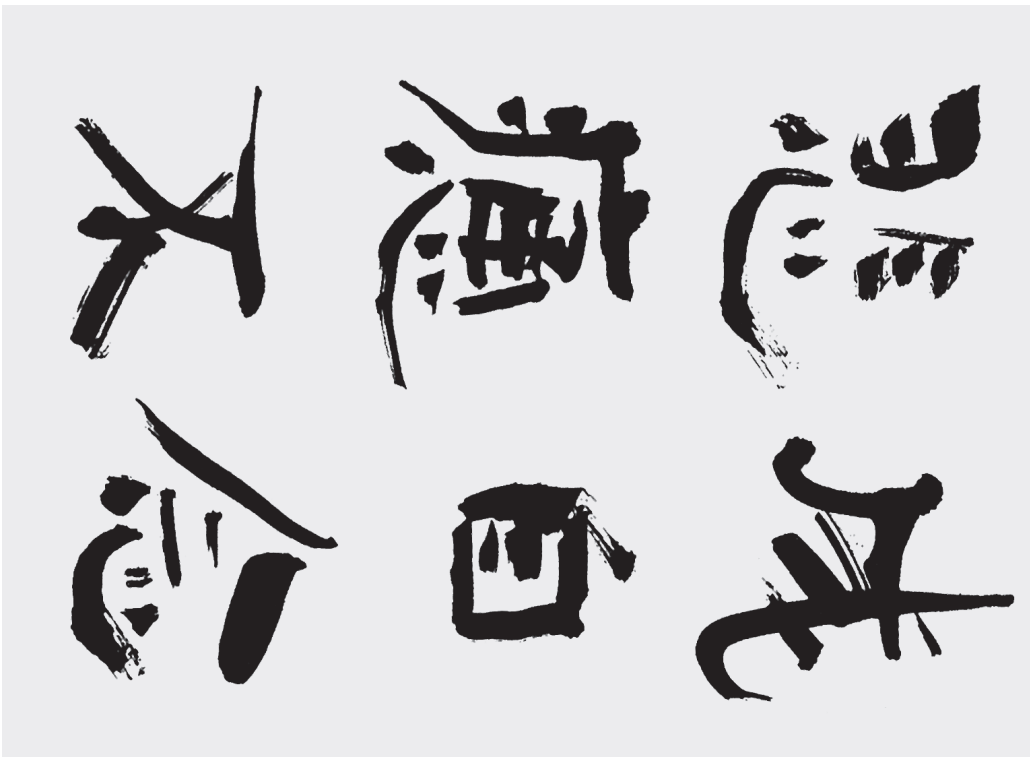
馬上逢寒食途中屬暮春可憐
江浦望不見洛橋人

【読み】馬上寒食に逢ひ、途中暮春に属す、憐むべし江浦の望、見ず洛橋の人。

(書体楷書) この作品は初学者を対象にしていますので上級者は古法帖などで研究し独自のものを制作されるようぞみます。

深 窳
輒 巷
隔

一般漢字半紙隨意部參考



後漢 微山雨城画像題記 千葉 香仙先生臨

(成自念悲痛不)

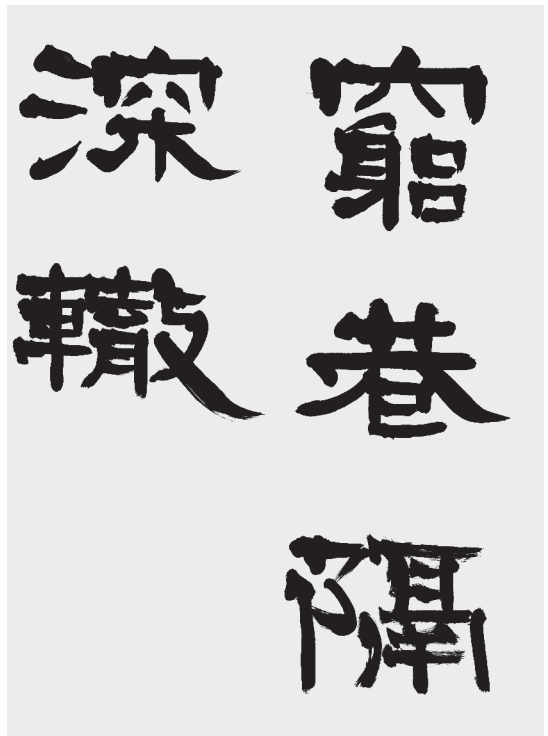
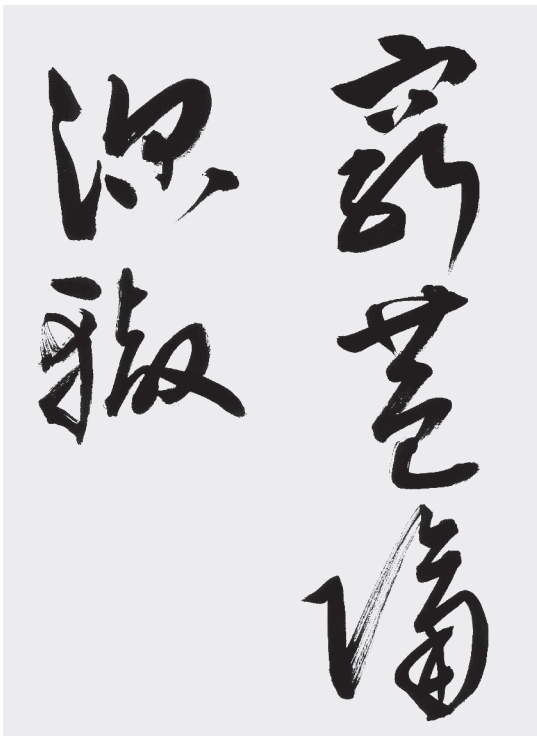
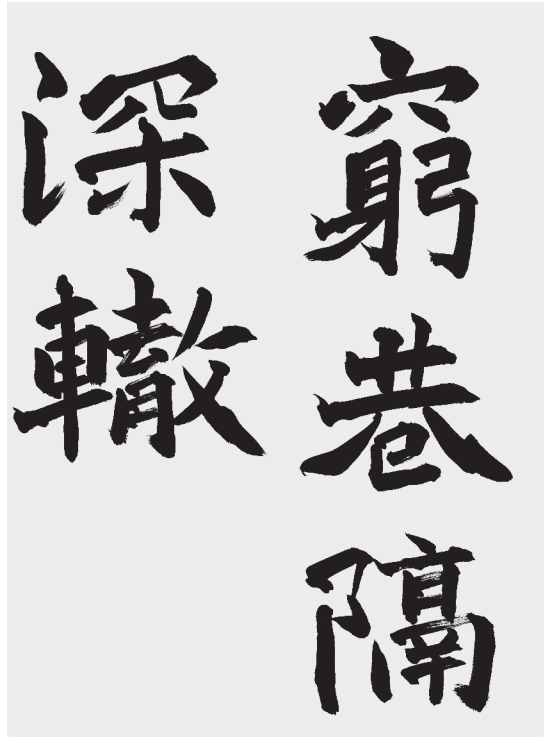
一般漢字半紙隨意部參考



北魏 高樹·解伯都等卅二人造像記 北林 翠禽先生臨

(始德星曜像於)

(一般部 課題文字四体)



【締切 二月十日本部必着】



典弘臨

〔原文〕 魏司徒參軍

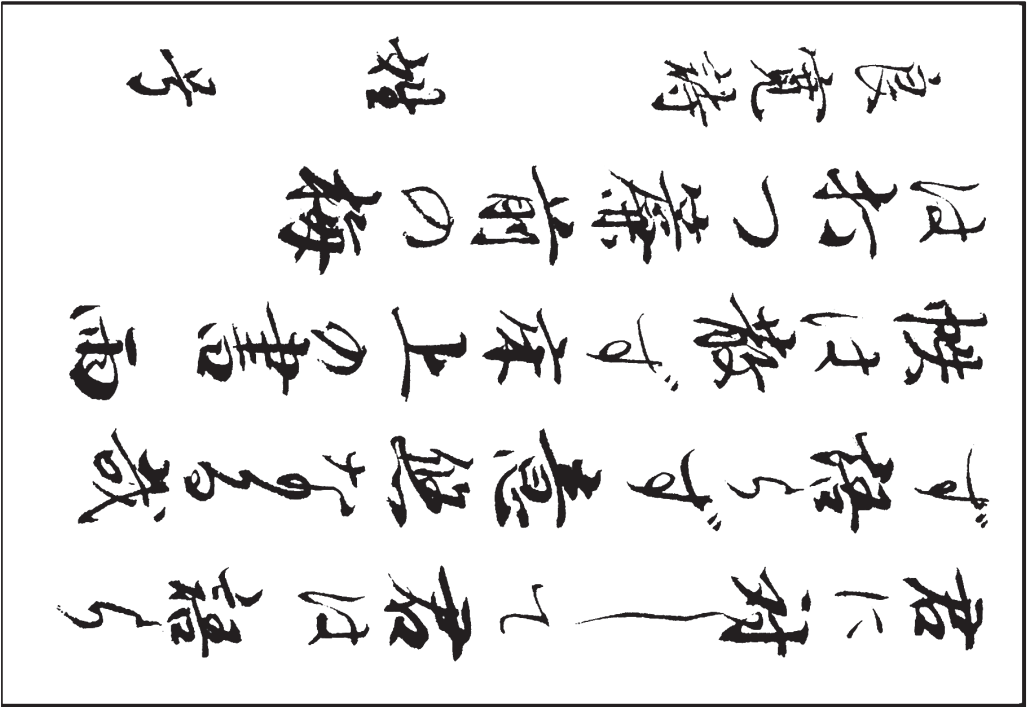
北魏元始和墓誌 北魏
正始二年（五〇五年）

碑の建立が禁止されると碑を墓室の中に建てる習慣が生まれました。狭い墓室に合った横に寝かせて置く形が工夫された墓誌が作られ銘文の加えられたものを墓誌銘という。墓誌は墓中にあったため損傷が少なく、当時の文字芸術を知るに留まらず、文獻としての意義も大きい。

※各自の感覚により、いろいろな表現を試みて下さい。

【締切 二月十日本部必着】

齋藤 月峰 先生 書



※右は参考です。書体・構成を研究して出品下さい。
※筆畫は茶罎部と同様、段級別集約ですので、出品票には現在段級を記入下さい。
※規定はP30に掲載しております。

中学部規定課題

学生臨書部

【締切—二月二十日本部必着】



(社交家)
典弘書

※学生臨書部の名前は行書で揮毫して下さい。



。手本出典 王羲之集字聖教序 。対象者 中学生以下学生部 (以法)
。参考字典 王羲之書法字典 (二玄社)

小学五年生規定課題

小学六年生規定課題

※小さい字の練習のために、必ず段級・氏名を小筆で書きましょう。



(仕上げ)
典弘書



(小売商)
典弘書

小学三年生規定課題

小学四年生規定課題

【締切—二月二十日本部必着】

ろ 犬

れ 玉

こ

い

(犬ころ)

(玉いれ)

典弘書

典弘書

小学一年生・幼年部規定課題

小学二年生規定課題

※小さい字の練習のために、必ず段級・氏名を小筆で書きましょう。

そ ら

し 子

(そら)

(子うし)

典弘書

典弘書

ペン字部規定課題参考

【締切 2月20日本部必着】

小学1年・幼年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学部	(一般部)
う か い	う つ く	つ 思 い	し ふ じ	父 読 み	文 章 を 読 ん で	梅 と も に あ り	梅 の 香 を 聞 か せ て
お か ん	ん が で	ゆ り	く 見 え	に 習 い ま し た	を 書 き ま し た	と も に あ り	梅 の 香 を 聞 か せ て
う た ご え	だ て る	か な 心	が と も 美	方 を	感 想	西 島 麦 南	梅 の 香 を 聞 か せ て
ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (B) (書体自由)	ペン字用箋 (B) (書体自由)

※手本 大橋 素石 先生

※出品規定についてはP30を参照下さい。



(推薦) 孝石

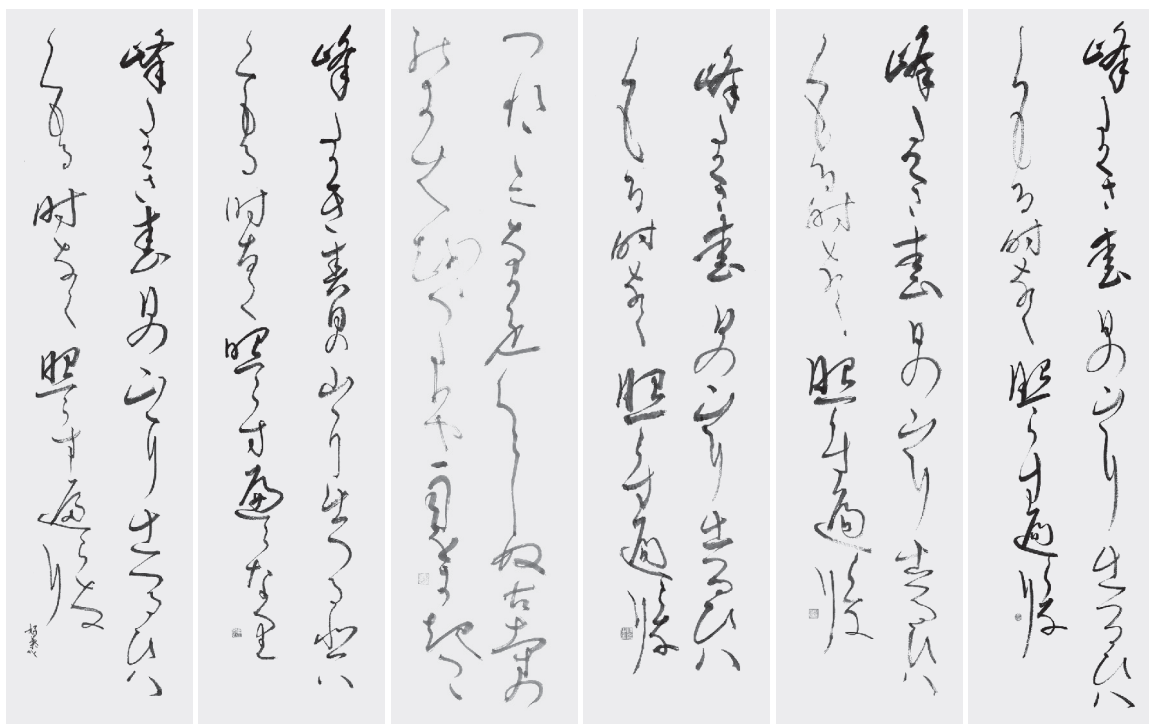
(推薦) 祥石

(推薦) 曉秋

(推薦) 利堂

(推薦) 秋香

(推薦) 芳潤



(地位) 好葉

(天位) 幸苑

(特選) 唯志

(特選) みや

(特選) 静流

(推薦) 曉秋

漢詠於珠中京兆五
守無以剋加河

長安詩
七言

(特選) 直樹

連上松端秋花起
絳錦設不羞不自舒

清
李臨

(特選) 清秀

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

秀次
十

(特選) 秀次

鴻聲月墮如音
連上松端秋花起
絳錦設不羞不自舒

音
通佳

(特選) 頌佳

連上松端秋花起
絳錦設不羞不自舒

彩
花

(特選) 彩花

連上松端秋花起
絳錦設不羞不自舒

妙
川

(特選) 妙川

葉霜如酒力濃
人情冷梨

千夏
五

(特選) 千夏

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

國博
四十五

(特選) 國博

空懷蒼天味

義峰

(特選) 義峰

倦鵲遠枝翻凍氣
飛鴻聲月墮如音

頌
音
通佳

(特選) 頌

夜替依然年禁同
五門小
處皆有微涼不是

石
次

(特選) 君花

連上松端秋花起
絳錦設不羞不自舒

清
心

(特選) 清心

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

翠
石

(特選) 翠石

雁一鵲霜尚如
夜寒

幸
苑

(特選) 幸苑

連上松端秋花起
絳錦設不羞不自舒

俊
石

(天位) 俊石

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

昌
香

(天位) 昌香

雁一鵲霜尚如
夜寒

秀
岳

(天位) 秀岳

連上松端秋花起
絳錦設不羞不自舒

香
泉

(天位) 香泉

霞雨進影百重
寒暑溽雨而前
蹤誠重芳程求深

芳
蘭

(天位) 芳蘭

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

恭
央

(天位) 恭央

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

萩
舟

(天位) 萩舟

欲乘鳥志先
木心

真
美

(天位) 真美

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

小
菊

(天位) 小菊

雁一鵲霜尚如
夜寒

幸
泉

(天位) 幸泉

倦客驚危恐傷禽
遶樹枝非逢暴公子
不取涕流離

智
香

(天位) 智香

倦鵲遠枝翻凍氣
飛鴻聲月墮如音

慶
子

(地位) 慶子

一書人醉斜陽裡
三月鶯啼細雨中

貞
男

(地位) 貞男

倦鵲遠枝翻凍氣
飛鴻聲月墮如音

博

(地位) 博

風舟如流如許
由因此情不

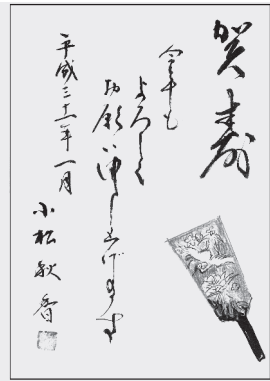
也

(地位) 利也

玲瓏野

花
野

(地位) 花野



之者必視
之身

美風

君仁聞
君風耀

逢春

既耕亦
已種

孝石



之者必視
之身

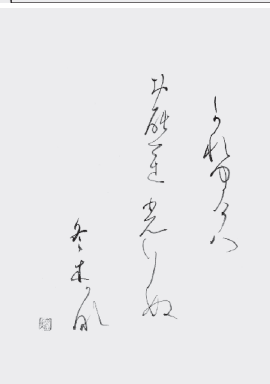
利風

既耕亦
已種

國博

既耕亦
已種

和美



之者必視
之身

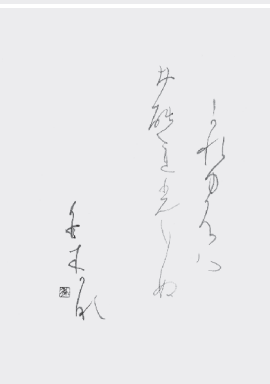
幾代

梅白雲
花満漉

愛輝臨

既耕亦
已種

澄子



之者必視
之身

昌香

既耕亦
已種

慶子

既耕亦
已種

貞男

(細字) 秋香
(細字) 静香
(かな) 秋香
(かな) 秀岳

(臨書) 美風
(臨書) 利風
(臨書) 幾代
(臨書) 昌香

(随意) 逢春
(随意) 國博
(随意) 愛輝
(随意) 慶子

(規定) 孝石
(規定) 和美
(規定) 澄子
(規定) 貞男

已種 拓龍	既耕亦 富士子	已種 冥弓	既耕亦 貴香	已種 秀次	既耕亦 秋彩石
已種 みどり	既耕亦 敏子	已種 袋代	已種 直勝	已種 輝石	已種 龍崎
已種 翔	既耕亦 裕子	已種 龍志	已種 美智	已種 彩花	已種 了庵
已種 木子吉	既耕亦 法隆寺	已種 煜華	已種 名花	已種 利風	已種 香登
已種 結史	既耕亦 孔子	已種 青澄	已種 泰岳	已種 玉鮮	已種 藤江
已種 真吾	既耕亦 弘文	已種 交原	已種 小吉	已種 幸泉	已種 史求
已種 由美子	既耕亦 美也香	已種 廣子	已種 英神	已種 志祥	已種 達彦

(準初) 拓龍
(準初) 拓みどり
(2級) 翔子
(3級) 米子
(4級) 結真
(5級) 真由
(7級) 美子

(二段) 富士子
(準二段) 子秋子
(準二段) 子文也
(準二段) 敏裕
(初段) 裕礼弘美
(準初) 裕礼弘美
(準初) 裕礼弘美

(準五段) まゆみ
(四段) 代仙
(準四段) 華澄
(三段) 耀子
(準三段) 龍煌
(二段) 青愛慶

(準師) 香樹
(準師) 貴直
(準師) 義君
(準師) 秀真
(五段) 爽
(五段) 爽

(師範) 秀雄
(師範) 彩利
(師範) 玉華
(師格) 華惠
(師格) 華惠
(師格) 華惠

(教範) 曉聽
(教範) 芳景
(教範) 祥史
(教範) 達彦
(準教) 達彦
(師範) 達彦

秋涛
蘭苑
石泉
春

已種 <small>松德</small>	既畊尔	已種 <small>美册之</small>	允畊尔	已種 <small>名者</small>	既耕亦	已種 <small>法心</small>	既畊尔	稱空芳 致謝皇 <small>名小山臨</small>	芳園 <small>利董</small>	咏乘扇
已種 <small>碧吉旺</small>	起故策	以其有 <small>清德</small>	易識者	已種 <small>丁至玉</small>	既畊尔	已種 <small>李秀</small>	允畊尔	已種 <small>秀次</small>	已種 <small>多山</small>	允畊尔
拙 <small>真男臨</small>	深為鄙	梅贈古 <small>富士堂師</small>	會龍起	邨伯分 <small>和美臨</small>	垂其仁	洙中京 <small>直勝八臨</small>	復詠於	已種 <small>道佳</small>	其華仙 <small>海遠臨</small>	足比清
已種 <small>峰子</small>	既畊尔	梅贈古 <small>藤子臨</small>	會龍起	已種 <small>欽代</small>	既耕亦	懸斲 <small>田</small>	璫瓌	已種 <small>清化</small>	已種 <small>和巳臨</small>	多資可
已種 <small>華</small>	既畊尔	已種 <small>裕子</small>	既畊尔	已種 <small>龜山</small>	既畊尔	已種 <small>于元</small>	允畊尔	已種 <small>玉昂</small>	山虛風 <small>秋吉</small>	落石
已種 <small>米子書</small>	既畊尔	成向亭 <small>礼子臨</small>	雨綠陰	興劉苟 <small>清海臨</small>	區張引	已種 <small>何月</small>	允畊尔	寶又過 <small>玉鮮臨</small>	已種 <small>養石</small>	既畊尔
已種 <small>法石名</small>	既耕亦	梅贈古 <small>香子臨</small>	會龍起	像百堪 <small>真真臨</small>	造弘勃	已種 <small>興神</small>	既耕亦	已種 <small>芝名</small>	已種 <small>利風</small>	既耕亦

(準初) 龍子
(準初) 男子
(準初) 峰瑞
(準初) 米信
(3級)
(5級)

(準三) 美册
(二) 清士
(二) 富子
(準二) 富子
(準二) 裕子
(初) 裕子
(初) 裕子

(五) 香美
(五) 美代
(準五) 仙澄
(四) 龍華
(準四) 青煌
(三) 龍煌
(三) 龍煌

(師格) 心香
(準師) 樹峰
(準師) 義苑
(準師) 義泉
(準師) 義神
(五) 義神

(師範) 山次
(師範) 佳花
(師範) 泉鮮
(師範) 清玉
(師範) 玉豐
(師格)

(教範) 堂石
(教範) 涛巴
(教範) 香石
(教範) 秋泰
(教範) 利風
(準教)
(師範)



(優位) 史泉
(優位) 真美
(優位) 玉泉

(優位) 唯志
(優位) 翠山
(優位) 彩花

(優位) 義峰
(優位) 富士子
(優位) 惠祥

(優位) 清芳
(優位) 雅子
(優位) 千夏

(秀位) 孝石
(秀位) 貴香
(秀位) 曉秋

(秀位) 爽神
(秀位) 國博
(秀位) 秀次



(佳位) 紫舟
(佳位) 幸江
(佳位) 頌蘭

(佳位) 敏子
(佳位) 香泉
(佳位) 秀岳

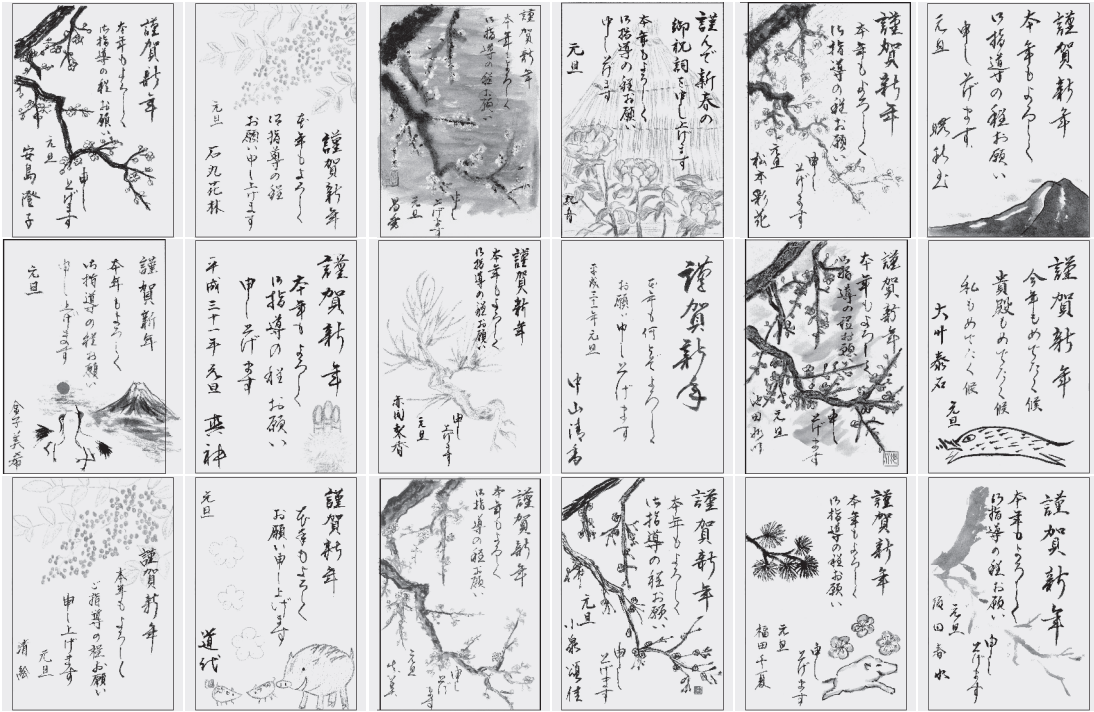
(佳位) 俊石
(佳位) 俊芳
(佳位) 博蘭

(佳位) 妙川
(佳位) 邦道
(佳位) 紀舟

(佳位) 澄子
(佳位) 清琴
(佳位) 拓龍

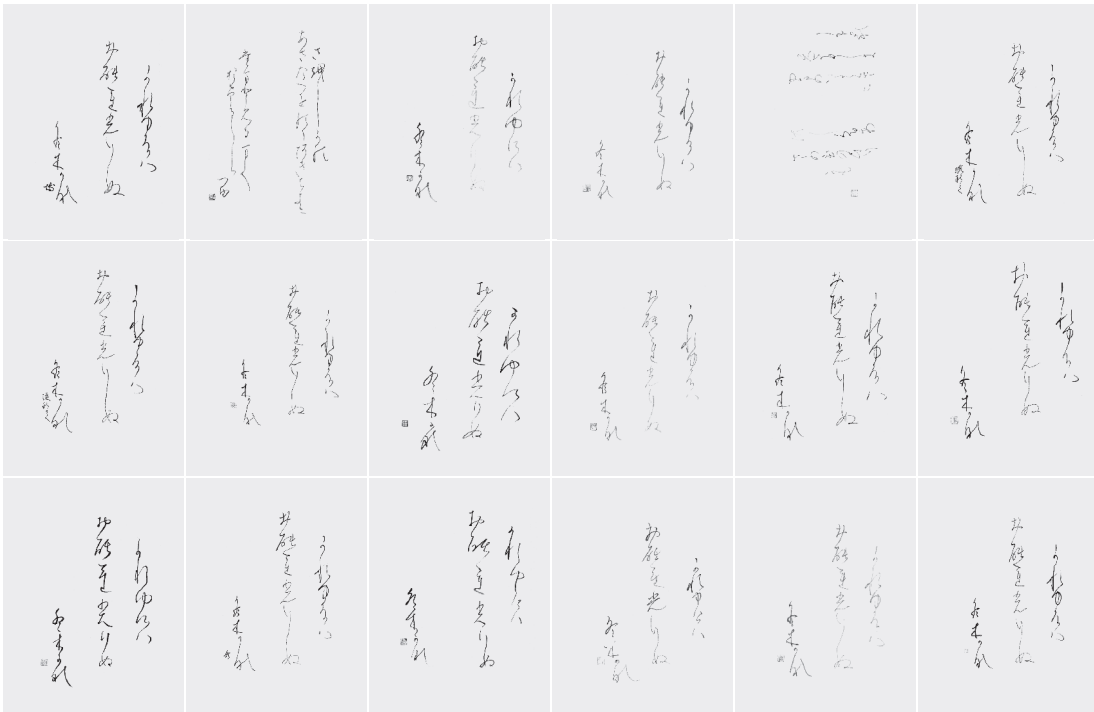
(佳位) 泰石
(佳位) 翠翠
(佳位) 頌佳

一般細字部当選作品



(地位)	澄美清	(天位)	花爽道	(天位)	昌梨真	(特選)	紀清頌	(特選)	彩妙千	(推薦)	曉泰春	(特選)	秋石水
(地位)	子希絵	(天位)	林神代	(天位)	香香美	(特選)	舟香佳	(特選)	花川夏	(推薦)	暁泰春	(特選)	秋石水

一般かな半紙部当選作品



(準初)	博秋絵	(初段)	頌貞秀	(三段)	順律花	(準師)	佐幸幸	(師範)	唯光み	(準教)	曉利史	(師範)	秋堂泉
(3級)	漢清	(準初)	佳男次	(二段)	子香林	(五段)	代苑翠	(師範)	志子や	(準教)	曉利史	(師範)	秋堂泉
(4級)		(準初)		(準二段)		(準四段)		(師格)		(師範)			

水川の
三段 雨谷晴輝

物拾い
初段 五年 西山優芽

内申書
五段 伊藤遼那

山接
結愛臨

太まる
二だん まし子こと吉

父子と
澤野礼莉

社会学
秀逸生 大木優奈

山接
さくら

太まる
三ツツウのザワユミ

父子と
三段 小室茉裕実

社会学
優秀生 雨谷優希

山接
朱美臨

あし
じゃんし 金沢 幸來

水川の
五段 田村 光絆

物拾い
鬼澤舞

内申書
秀逸生 門馬愛実

※写真版に掲載されても昇格しない方がいます。

(小3) 晴輝
(小2) 采音
(小2) 悠人
(小1・幼年) 幸來

(小5) 優芽
(小4) 礼莉
(小4) 茉裕実
(小3) 光絆

(中学) 遼那
(小6) 優奈
(小6) 優希
(小5) 舞

(学臨) 結愛
(学臨) さくら
(学臨) 朱美
(中学) 愛実

学 生 部 当 選 作 品

(小 学 六 年)

(中 学 部)

(学 生 臨 書 部)

<p>社会 学 四段 豊田恵朗</p>	<p>社会 学 秀逸 北脇あすか</p>	<p>内申 書 鈴木真悠</p>	<p>内申 書 最優秀生 仙波菜穂</p>	<p>山接</p>	<p>山接 悠雅</p>
<p>社会 学 三段 鈴木心美</p>	<p>社会 学 秀逸 鈴木心美</p>	<p>内申 書 加藤木遥来</p>	<p>内申 書 最優秀生 渡邊さくら</p>	<p>山接 粉川麻愛</p>	<p>山接 菜穂</p>
<p>社会 学 二段 二瓶瑠美</p>	<p>社会 学 優秀生 深作詩羽</p>	<p>内申 書 優秀生 大場航</p>	<p>内申 書 最優秀生 神永瞳</p>	<p>山接 あすか</p>	<p>山接 せな</p>
<p>社会 学 二段 岡本頼樹</p>	<p>社会 学 特待生 和田愛羽</p>	<p>内申 書 特待生 石岡春花</p>	<p>内申 書 最優秀生 澤野愛萌</p>	<p>山接 瑠美眩</p>	<p>山接 瞳</p>
<p>社会 学 二段 垂井愛美</p>	<p>社会 学 準特待 小嶋りな</p>	<p>内申 書 準特待生 小嶋彩矢</p>	<p>内申 書 最優秀生 中島智悠</p>	<p>山接 愛羽</p>	<p>山接 愛実悠</p>
<p>社会 学 初段 日里陽夏</p>	<p>社会 学 五段 鈴木優奈</p>	<p>内申 書 五段 金沢夢来</p>	<p>内申 書 最優秀生 鈴木遥来</p>	<p>山接 伊藤遼那</p>	<p>山接 莉菜</p>
<p>社会 学 準初段 佐見綾香</p>	<p>社会 学 五段 小嶋 香菜</p>	<p>内申 書 準初段 粉川麻愛</p>	<p>内申 書 秀逸生 今野朱美</p>	<p>山接 真悠臨</p>	<p>山接 心美</p>

(四段) 恵一朗
(三段) せな美樹
(三段) 瑠愛美
(二段) 頼愛陽
(初段) 綾香

(秀逸) 悠雅
(秀逸) 秀逸
(優秀) 秀逸
(特待) 秀逸
(準特) 秀逸
(五段) 秀逸
(五段) 秀逸

(逸) 悠雅
(秀) 悠雅
(秀) 悠雅
(秀) 悠雅
(秀) 悠雅
(秀) 悠雅
(秀) 悠雅

(最) 菜穂
(最) 菜穂
(最) 菜穂
(最) 菜穂
(最) 菜穂
(最) 菜穂
(秀) 菜穂

(学) 菜穂
(学) 菜穂
(学) 菜穂
(学) 菜穂
(学) 菜穂
(学) 菜穂
(学) 菜穂

(学) 悠雅
(学) 悠雅
(学) 悠雅
(学) 悠雅
(学) 悠雅
(学) 悠雅
(学) 悠雅

学 生 部 当 選 作 品

(小学三年)

(小学四年)

(小学五年)

水川 の 前田小えで	水川 の 五段 甲村 成絆	子父と 二段 字野 那南	子父と 特待生 漢野 俐味	物拾い 四段 小島 悠裕	物拾い 最優秀生 金子 渚紗
水川 の 川上 由初	水川 の 鳴海 結音	子父と 大久保 優羽	子父と 加藤木 優菜	物拾い 二段 池口 裕梨	物拾い 最優秀生 中島 心寧
水川 の たじゆん めい たり田 あひる	水川 の 三段 佐木 暁都	子父と 初段 旁地 陽真	子父と 菅野 莉音	物拾い 二段 川崎 輝	物拾い 秀逸生 金子 蒼弥
水川 の 準初 三年 中村 ももか	水川 の 二段 宮本 百花	子父と 準初段 留田 裕人	子父と 五段 中西 逢志	物拾い 初段 長町 奈	物拾い 龜山 凜音
水川 の 三級 せき あやな	水川 の 初級 飯村 輝斗	子父と 準初 阿部 月天	子父と 四段 清水 彩乃	物拾い 準初 五年 知日 夏	物拾い 大西 夢月
水川 の 三級 森 隆世	水川 の 初級 富田 花夏	子父と 二段 内藤 直穂	子父と 大場 百華	物拾い 四段 関 夏希	物拾い 會澤 緋織
水川 の 六級 白水 あり	水川 の 準初級 藤岡 優輝	子父と 六級 里澤 里 里桜 奈	子父と 二段 前田 菜奈	物拾い 五級 白水 みらん	物拾い 四段 大木 洋香

(準初) かえで
(準初) 紗奈香
(準初) 由芽依那
(準初) 桃彩那
(2級) 彩隆世
(3級) 隆あ
(6級) り

(五段) 成絆
(三段) 結暁
(三段) 眺百
(二段) 颯風
(二段) 花斗
(初段) 夏佑
(準初) 絆音都

(二段) 那南
(二段) 優陽
(初段) 裕月
(準初) 真里
(1級) 真里
(6級) 奈

(特待) 俐味
(準特) 優菜
(五段) 莉逢
(五段) 彩百
(四段) 華奈
(三段) 菜

(四段) 悠裕
(三段) 一莉
(二段) 日夏
(初初) み
(準初) ら
(3級) ん
(4級) ん

(最優) 渚心
(最優) 蒼夢
(秀逸) 渚紗
(特待) 洋
(特待) 紗寧
(五段) 弥音
(四段) 月織
(四段) 香

ペン字部当選作品

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
湘南 五 香逸生 金子猪砂
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 五 優秀 鬼澤舞
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 五 特待 龜山直未
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 五 特待 會澤紳織
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 五 二段 小島悠雅
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 五 二段 坂入亜希
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 五 二段 前田あおい
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 五 一 戸板拓真
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 四 初段 田上隼
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

世界遺産に選ばれ
た古くて美しい町
書心 四 二級 内藤貞穂
秋の遠足はバスで
空港に行きます
美しい山の絵をか
んしようしました
あしたの夕がたか
ら雨になりそうだ
あきになつて山が
こようとしてきた

※ペン字部写真版は段級順でなく選抜して掲載しております。

平成三十一年度前期昇格試験募集要項

漢 字 部

- 一般部
 - 第一部 ◇条幅課題「旅宿倦愁臥空堂聞曉更。風簾搖燭影秋雨帶蟲聲。」を三体（隸・楷・行・草）と臨書部（石鼓文・篆書、口禱器碑・隸書、口張猛龍碑・楷書）、二頭真御察姪文稿（行書、内孫過庭書譜（草書）の各体うちいずれか一書を小画仙半切四葉にそれぞれ落款を入れる（条幅形にたて書とする）提出する。
 - 第二部 ◇半紙課題「事與庸人俱」を隸・楷・行・草・四体第一部課題文字書体任意の条幅を一葉（各体とも落款を入れる）計五葉を揮毫提出のこと。
 - 第三部 ◇半紙課題「事與庸人俱」を楷・行・草（各体とも落款を入れる）計三葉を揮毫提出のこと。
 - 第四部 ◇半紙課題「事與庸人俱」を楷行（各体とも落款を入れる）二葉を揮毫提出のこと。

- 課題
 - ◇準初段以上の方は必ず受験して下さい。（但し級の方も受験可）
 - ◇小学生部（準初段以上はこの昇格試験を受験しないと昇格しない）

- 漢字部
 - ◇小学部「空海」 小学三年「かお」
 - ◇小学部「人徳」 小学五年「少年」
 - ◇小学部「今日」 小学一年・幼年部

- かな部
 - 第一部
 - ①半切課題「桜咲く遠山鳥のしだり尾のながながし日もあかぬ色かな」〈後鳥羽院〉（縦書きで文字交換、構成自由）
 - ②半紙課題「春のいろは花ともいはじ露よりこぼれてにほふ鶯のこゑ」〈藤原良経〉（縦書きで文字交換、構成自由）
 - ③古筆臨書（高野第一種・高野切第三種・関戸古今のいずれかを、半懐紙半分程度に原寸で臨書、古筆名を記入する）
 - 第二部
 - ①半紙課題（第一部の②半紙課題と同じ）
 - ②古筆臨書（第一部の③と同じ）
 - 第三部
 - ①半紙課題「春の谷あかるき雨の中にして鶯なけり山のしづけさ」〈尾上紫舟〉（文字交換自由、構成は四行書き）
 - ※条幅・半紙課題は縦書きで文字交換、構成自由。ただし第三部の構成は四行書きです。

- ペン字部
 - 各部共通課題「東風無_レ跡秀_二芳草_一」
 - 野鳥不言_レ銜_二落花_一

- 一般部
 - 第一部 共通課題を_レ行草体で一葉及び
 - 「林院鶴歸_二山色_一外_二水亭人去_レ夕陽前_一」
 - を楷書・行草体で二葉、計三葉提出
 - 第二部 共通課題と第一部課題を一葉ずつ計二葉提出、書体自由
 - 第三部 共通課題を書体自由で一葉提出
 - 第四部 共通課題を書体自由で一葉提出
 - 編入部 共通課題を書体自由で一葉提出

- 学生部
 - ◇小学部「海の音山の音みな春しぐれ 中川宋洌」
 - ◇小学六年「検査をして安全を確かめましょう」
 - ◇小学五年「ゆつくりと美しく文字を書きます」
 - ◇小学四年「父の会社はトラックを売っています」
 - ◇小学三年「かわいい子犬がけさ生まれました」
 - ◇小学二年「よはれたお天気がつづいている」
 - ◇小学一年・幼年「あおいうみ しるいくも みずいる」

- ◇出品の注意事項
 - ◇一・二・三・四部いずれれを選んでも任意、ただし一人で各部への出品はできません。
 - ◇かな部・ペン字部はどなたでも出品できます。
 - ◇漢字部・ペン字部・学生部共に受験課題は平成三十年四月現在での新学年とします。
 - ◇受験料は必ず作品と同送のこと。（切手代用はおことわり）
 - ◇振替送金は受け付けません。
 - ◇作品には一枚ごとに当会指定の出品票を付すこと。出品票は必要枚数を本部へ申込み下さい。氏名・現在段級を明記のこと。
 - ◇昇試の課題はその月の一般の競争書の出品できません。
 - ◇昇試作品は他の作品と同封せず、封筒に「昇試」と朱書すること。
 - ◇郵便料金の不足は受け付けません。
 - ◇参考手本ご希望の方は、添削理事または本部へ条幅一体四・三三〇円、半紙一体一・〇八〇円と落款まで指導希望のときは倍額とすること。学生部の手本は一葉五四〇円とします。
 - ◇但し漢字一部臨書課題の手本は書きません。
 - ◇ペン字部一般部一・五四〇円、学生部 五四〇円
 - ◇返信用封筒を添えて御申込み下さい。
 - ◇最近添削規定が守られていない方がありますので、失礼にならないようご遠慮願います。
 - ◇※行事参加・貢献度・外部公察展覧での成績とする
 - ◇※学生部は漢字部・ペン字部共に平成三十一年四月時での新学年とします

出 品 料

部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	
漢	字	部	漢	字	部	漢	字	部	漢	字	
第一	部	七、〇二〇円	第一	部	七、〇二〇円	第一	部	七、〇二〇円	第一	部	七、〇二〇円
第二	部	六、四八〇円	第二	部	六、四八〇円	第二	部	六、四八〇円	第二	部	六、四八〇円
第三	部	五、四〇〇円	第三	部	五、四〇〇円	第三	部	五、四〇〇円	第三	部	五、四〇〇円
第四	部	四、三二〇円	第四	部	四、三二〇円	第四	部	四、三二〇円	第四	部	四、三二〇円
編入	部	二、一六〇円	編入	部	二、一六〇円	編入	部	二、一六〇円	編入	部	二、一六〇円
第一	部	七、〇二〇円	第一	部	七、〇二〇円	第一	部	七、〇二〇円	第一	部	七、〇二〇円
第二	部	六、四八〇円	第二	部	六、四八〇円	第二	部	六、四八〇円	第二	部	六、四八〇円
第三	部	五、四〇〇円	第三	部	五、四〇〇円	第三	部	五、四〇〇円	第三	部	五、四〇〇円
第四	部	四、三二〇円	第四	部	四、三二〇円	第四	部	四、三二〇円	第四	部	四、三二〇円
編入	部	二、一六〇円	編入	部	二、一六〇円	編入	部	二、一六〇円	編入	部	二、一六〇円
学	部	一、〇八〇円	学	部	一、〇八〇円	学	部	一、〇八〇円	学	部	一、〇八〇円
学	部	一、〇八〇円	学	部	一、〇八〇円	学	部	一、〇八〇円	学	部	一、〇八〇円

- 締切 各部とも四月三日（水）厳守（本部着）
- 発表 六月号予定

今日

小学四年

少年

小学五年

人徳

小学六年

空海

中学部

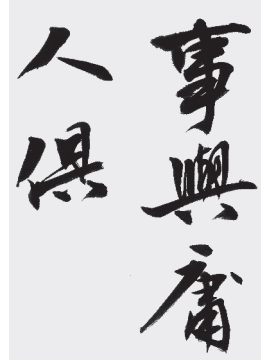
昇格試験学生部参考手本

平成三十一年度前期漢字部・かな部・学生部半紙手本

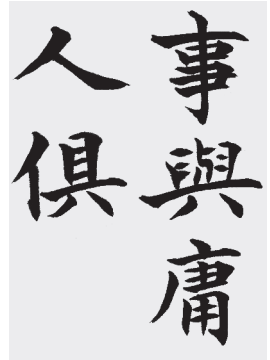
漢字一般部半紙参考手本



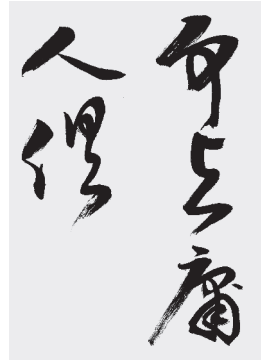
隷書



行書



楷書

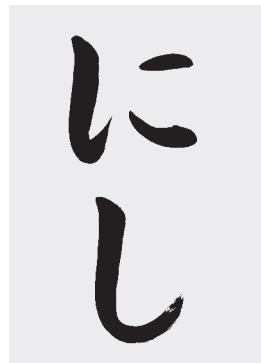


草書

昇格試験学生部参考手本



小学三年



小学一年・幼年部



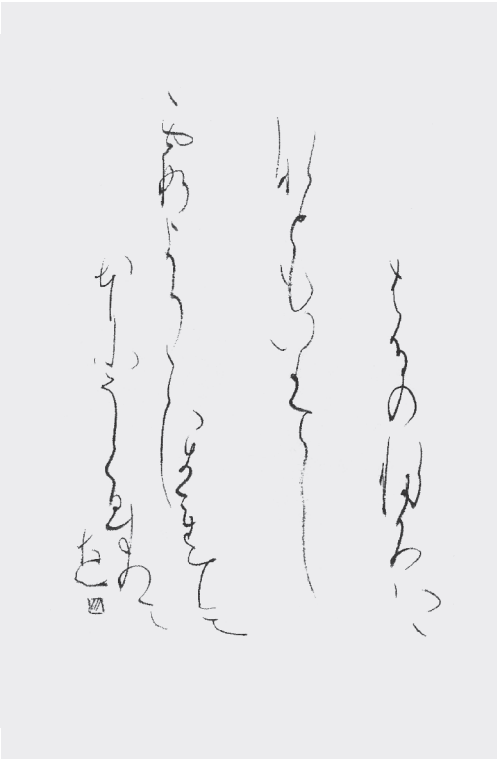
小学二年

※ペン字部への出品応募が、
一般部・学生部共に少ないです。勉強ですので前
向きに御応募下さい。
※一般漢字条幅・半紙共、
落款揮毫の際は、本文書
体に合わせて記入して下さい。

かな一・二部半紙参考手本

「春のいろは花ともいははじ霞よりこぼれてにはふ鶯のこゑ」(藤原良経)

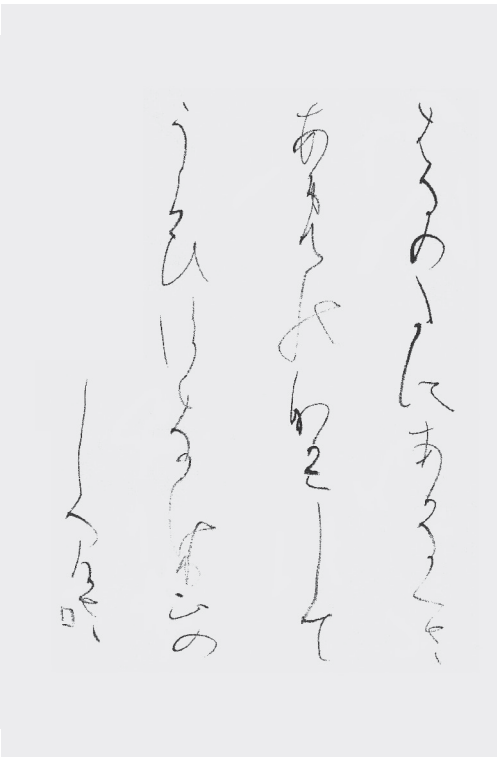
(縦書きで文字交換・構成自由)



かな三部半紙参考手本

「春の谷あかるき雨の中にして鶯なけり山のしづけさ」(尾上紫舟)

(文字交換自由・構成は四行書き)



漢字部 条幅 課題

漢字部 隸書

旅宿倦愁臥空室聞曉更風
簾搖燭影秋雨帶蟲聲

「旅宿倦愁臥空室聞曉更。風簾搖燭影秋雨帶蟲聲。」

漢字部 楷書

旅宿倦愁臥空室聞曉更風
簾搖燭影秋雨帶蟲聲

漢字部 行草書

旅宿倦愁臥空室聞曉更風
簾搖燭影秋雨帶蟲聲

かな部 第一部 条幅 課題

「桜咲く遠山鳥のしだり尾のながなかし日もあかぬかな」(後鳥羽院) (縦書きで文字交換・構成自由)

桜咲く遠山鳥のしだり尾のながなかし日もあかぬかな

※注意 漢字第一部における、臨書条幅課題の文字教は自由とします。

(イ、ロ、ハ、ニ、ホのうち任意の一体のみ提出)

漢字部第三部は、楷・行・草三半紙体です。

平成三十一年度前期昇格試験ペン字部参考手本

小学1年・幼年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学部	一般部共通課題
い あ く お も	が よ つ は づ れ た お 天 気	さ か わ い い 子 犬 が け	ク 父 の 会 社 は ト ラ ジ	文 字 を 書 き ま す ゆ く り と 美 し く	確 か め ま し よ う 検 査 を し て 安 全 を	春 し ぐ れ 中 川 密 剃 海 の 音 山 の 音 み な	東 風 無 跡 秀 草 野 鳥 不 言 衛 落 花 鳥 不 言 衛 落 花 東 風 無 跡 秀 草 野 鳥 不 言 衛 落 花
ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (A)	ペン字用箋 (B)	ペン字用箋 (B)

※月例作品には出品出来ません。

一 一般部 東風 無跡 秀草 野鳥 不言衛落花
 二 一般部 東風 無跡 秀草 野鳥 不言衛落花

【漢字部】

条幅部 ○芳潤氏 規模が大きく振り充分の作。○秋香氏 描線の切れ鋭い。○利堂氏 骨格のしっかりした作。○雄石氏 筆触爽やか。○玉泉氏 鋒先を沈潜させた作。○清琴氏 大胆な筆致。○和美氏 造型の妙が出た作。○爽神氏 雅趣ある作。○まゆみ氏 強靱な描線。○美峰氏 歯切れよい描線。○拓龍氏 氣宇大の作。○慶子氏 洗練されて来た描線。佳。

規定部 ○孝石氏 余裕あり清勁。○史泉氏 妙味ある筆致。○逢春氏 動きある描線。○玉泉氏 変化のある表現。○貴香氏 筆致堅実。○秀岳氏 秀潤な表現。○和美氏 氣力横溢の作。○幾代氏 骨力を藏して快調。○龍仙氏 暢快にして変化を得た。○煌華氏 重量感の増した作。○愛耀氏 俊敏な筆致。○澄子氏 闊達な表現。○敏子氏 沈着な表現。○漢秋氏 研み朗暢。但し落款が上段に揮毫されています。もう3cmぐらい下から書いて下さい。○貞男氏 格調を得た。○喜代子氏 字形を小さくして余白を生かして下さい。運筆もゆつくり書きたい。○翔氏 筆使いが慣れて来ました。○米子氏 「種」の「禾」が縦長過ぎる為字形が大きく行間が無くなりました。○結愛氏 字形を小さくしたい。○真吾氏 一行目の下段が広くなり過ぎました。○由美子氏 「己」が少し縮んでしまいました。

【かな部】

条幅部 ○暁秋氏 潤渇の妙を出した作。○史泉氏 描線の強弱の表現佳。○幸苑氏 一行目「春」「日」の字間の表現に工夫を求めたい。○好葉氏 布置の良い作。**半紙部** ○暁秋氏 「光」の字形が少し大きい。○秋香氏 一行目「れ」の字形を縦長にして二行目との調和を取りたい。○みや氏 布置の良い作。○佐代氏 細線を加えたい。○幸苑氏 良くまとまっています。○秀岳氏 鋭い細線を加えたい。○幸翠氏 一行目「れ」の字幅が

事。○國博氏 描線沈潜し佳。○爽神氏 躍動した描線。○和美氏 使転軽妙な筆法。○幾代氏 練達の作。○龍仙氏 適格運筆。○青澄氏 充実感溢れる描線。○愛耀氏 整正にして豪快。○慶子氏 冴えた描線。佳。○敏子氏 点画確実。○礼子氏 骨力の増した作。○拓龍氏 柔軟性ある描線。○喜代子氏 全体的に早く書き過ぎです。ゆつくり書いて描線を沈めて下さい。○米子氏 細線が浮いていて弱い線になってます。筆鋒を紙面に突き刺す様にして丸みのある線を出して下さい。○信石氏 前者と同様です。

臨書部 ○美鳳氏 軽やかな表現が出ました。掠れを加え表現に工夫を求めますが、テクニクに走り過ぎない様に曹全碑の臨書をして骨格となる描線を作ってください。○利風氏 少し力み過ぎの描線が堅くなっています。○幾代氏 前者と同様です。○昌香氏 掠れが効果的です。○爽神氏 描画に変化をつけたい。○國博氏 書き込み不足です。描線に切れがありません。氏の力量はこれでは不足です。○秀次氏 描線にまだ堅さがあります。○孝石氏 掠れを入れ表現の工夫をして下さい。○貴香氏 「必」が縮んでいます。全体の紙面の配置を研究下さい。○暁秋氏 「視」の「見」の右払いが楷書になっています。木簡の一つの特徴の表現を研究下さい。

広い。○順子氏 一、二行目の表現が良いが三行目「那」の描線が大きくなった。細線で締めたい。○律香氏 字形が全体的に大きいです。一考下さい。○花林氏 前者と同様です。○頌佳氏 流れの良い作。○貞男氏 良くまとまっています。○隆雲氏 一、二行目の行間が広いです。テキストの分析を求めます。○漢秋氏 三行目「那」の字形が大きいです。○清絵氏 細線の表現を研究下さい。

細字部注釈

(齋藤 月峰 注釈・選)

對君不語 不語意悠哉 帙散床上書 雨打簾前梅
 (即事) 君に対して君は語らず 語らず意悠なる哉
 帙は散ず床の上の書 雨は打つ簾前の梅

※細字部専用ご案内(極力御使用下さい)
 ・価格 六〇枚一セットで 五五〇円(税込)
 ・送料 一セット 一七〇円
 二セット 二五〇円
 三セット 二八〇円
 四セット 四〇〇円
 五セット以上 五五〇円

※細字用小筆ご案内
 ・価格 一本一六二〇円・五五〇円・三三〇円の三種類(税込)
 ・送料 一本以上申し込みで五五〇円
 ・申込先 群鴛書道会本部(送料を含めて申し込み下さい)

※硬筆部二月号 清書出品注意

※初めて出品する方は、一般部・学生部共に、毛筆部の段級に關係なく新入として出品して下さい。
 ※低学年のながきの氏名は、支部の先生が漢字で出品券に明記して下さい。
 ○出品券は左端につけて下さい。
 ○筆記用具は、ボールペン、鉛筆(2B)、ペンを使用し、色は黒のみとする。
 ○用紙は本会所定用箋(A)(B)使用のこと。
 ○用箋は(A)(B)共に一冊一三〇円ですが、各用箋とも二十冊単位での購入で一冊贈呈致します。

五十枚綴り 一冊一三〇円(税込送料別)

◆ペン字用箋が(A)(マス目ワク入り)と、(B)(縦ワクのみ)と二種類になります。価格は同じですが、注文の際は(A)・(B)の別を明記して下さい。

ペン字用箋の送料

	(用箋代を)	(下記を)
	(加算して)	(下さい。)
1冊	100円	
2冊	200円	
3~5冊	300円	
6~11冊	410円	
12冊以上	550円	

第六三九回 競書成績

賞印……賞状該当者で昇級
 ○印……昇級該当者(準初段以上は昇級による昇格とする) 昇級該当者は、次月より一階級上の級を記入
 出品のこと。 ×印規定違反、条幅部は、級段により五区分の審査、臨書部は不定で作品の優劣により毎月順位が異動する。 仮名は独自の段階とする。

漢字条幅部

〔推薦〕
 (成家) 準教範

堀江 芳潤
 小松 秋香
 熊澤 利堂
 西山 曉秋
 松本 祥石
 細谷 孝石
 角田 紫舟
 雨谷 妙花
 宮川 和巳
 大竹 泰石
 金子 丹桂
 清水 景苑
 友部 聰涛
 (特選)
 (師範) 準師範
 高林 雄石
 柴田 玉鮮
 松本 清琴
 一ノ瀬利風
 檜山 美鳳
 富士 貴香
 中山 清香
 鈴木 直樹
 柳下 清秀
 大塚 秀次
 小泉 彰佳
 松本 彩花
 池田 妙川
 福田 千夏
 石川 國博
 登坂 義峰

梅野 頌蘭
 大森 君花
 朴 清心
 阿部 翠石
 土田 幸苑
 和田 玉泉
 伊藤 唯志
 須田 春水
 井関 真彩
 須田喜由洞
 佐藤 幸翠
 依藤 雅子
 梶 登道
 林 彩春
 並川 淑泉
 森島 翠峰
 堀 佳泉
 鈴木 栖娃
 道口 恵祥
 富澤 静流
 前田 清花
 松井 香雪
 金子 輝翠
 長嶋 清芳
 齊藤 香花
 長谷川紀舟
 林 光子
 (天位)
 (五段) 準四段
 笹生 和美
 君野 爽神
 友澤 真弓
 四十物幾代
 小林 恵子
 田谷 俊石
 根本 昌香

海老原秀岳
 松山 香泉
 宮崎 芳蘭
 石川 恭史
 福村 真美
 中尾 萩舟
 栗田 小菊
 小熊 幸泉
 東 智香
 赤間 隆雲
 齋藤 隆香
 加藤 芳翠
 岡村 道代
 岡村 白舟
 松本 菊舟
 渋谷 菊舟
 (地位)
 (三段以下)
 松永 美峰
 根本 拓龍
 原 慶子
 岸 貞男
 郡司 博
 安孫子利也
 川上 花野
 廣島 好葉
 半澤 聡子
 黒澤 光明

かな条幅部

〔推薦〕
 (成家) 準教範
 西山 暁秋
 熊澤 利堂
 (特選)
 (師範) 準師範

塩谷 史泉
 富澤 静流
 相澤 みや
 伊藤 唯志
 小松 秋香
 福村 真美
 中尾 萩舟
 栗田 小菊
 森島 翠峰
 井上 淑泉
 金子 丹桂
 林 光子
 堀 佳泉
 松井 香雪
 (天位)
 (五段) 準四段
 土田 幸苑
 海老原秀岳
 佐藤 幸翠
 (地位)
 (三段以下)
 廣島 好葉
 宮川 和巳
 小熊 幸泉
 齋藤 隆雲

漢字規定部

〔既耕亦已種〕
 (成家)
 (準成家)
 (教範)
 日工 細谷 孝石
 湘南 西山 暁秋
 聴涛 友部 聰涛
 書心 堀江 芳潤
 書心 清水 景苑

松本 祥石
 金子 丹桂
 雨谷 妙花
 角田 紫舟
 青葉 秋香
 阿部 翠石
 森島 翠峰
 井上 淑泉
 湘南 塩谷 史泉
 湘南 大竹 泰石
 書心 丹桂
 金子 丹桂
 遊鷺 串田 逢春
 群鷺 大塚 秀次
 書心 高林 雄石
 松本 彩花
 十王 一ノ瀬利風
 書心 大場 翠山
 頌門 福田 千夏
 頌門 須田 春水
 頌門 小泉 美佳
 頌門 檜山 清花
 書心 前田 清花
 書心 齊藤 香花
 湘南 阿部 翠石
 湘南 和田 玉泉
 湘南 池田 清香
 湘南 木内 輝湖
 湘南 柳下 清秀
 書心 中山 清香
 書心 池田 妙川
 書心 鈴木 邦道
 刀波 須田喜由洞
 湘南 松井 香雪
 湘南 井上 淑泉
 遊鷺 柴田 玉鮮

湘南 兒玉 華泉
 書心 道口 恵祥
 北墨 片山 豊水
 刀波 松本 清琴
 書心 長嶋 唯志
 湘南 森島 翠峰
 書心 並川 彩春
 書心 朴 清心
 湘南 長谷川紀舟
 湘南 川村 雅子
 湘南 鈴木 栖娃
 群鷺 富士 貴香
 北墨 登坂 直樹
 刀波 鈴木 美峰
 書心 大森 君花
 成沢 相澤 みや
 群鷺 石川 國博
 北墨 伊藤 唯志
 水戸 梅野 頌蘭
 北墨 佐藤 幸翠
 北墨 土田 幸苑
 書心 井関 真彩
 書心 富澤 静流
 利心 林 光子
 湘南 金子 輝翠
 北墨 海老原秀岳
 聴涛 中尾 真美
 群鷺 君野 爽神
 湘南 福村 萩舟
 群鷺 根本 昌香
 書心 飛田 祥花

石川 恭史
 加藤 芳翠
 北墨 小泉 幸泉
 刀波 小松 清風
 書心 高部 梨香
 湘南 赤間 隆雲
 書心 宮崎 芳蘭
 北墨 齋藤 隆雲
 湘南 石丸 花林
 (準二段)
 遊鷺 笹生 和美
 遊鷺 友澤 真弓
 湘南 岡村 道代
 湘南 渋谷 菊舟
 群鷺 四十物幾代
 書心 田谷 俊石
 書心 松山 香泉
 湘南 東 智香
 湘南 栗田 小菊
 (準四段)
 北墨 柳 龍仙
 湘南 高岸 公子
 湘南 松本 白舟
 (三段)
 遊鷺 本吉 煌華
 遊鷺 山崎 青澄
 遊鷺 立野 彩霞
 書心 主濱 栄石
 書心 川上 花野
 書心 安部 秀石
 湘南 三澤 順子
 頌門 郡司 博
 成沢 黒澤 光明
 遊鷺 小林 愛耀

湘南 大山 美册
 湘南 高梨 朱玉
 (二段)
 頌門 安島 澄子
 頌門 原 慶子
 頌門 矢原 富子
 聴涛 葉山 裕子
 刀波 松永 美峰
 湘南 齊藤 清絵
 (準二段)
 頌門 飛座 敏子
 頌門 草柳 裕子
 丹野 半澤 聡子
 湘南 若林 紫季
 書心 生井沢康代
 湘南 銀持 紫香
 (初段)
 湘南 秋山 漢秋
 遊鷺 山田 礼子
 湘南 宮本 孝子
 湘南 柴崎 淳秋
 湘南 長谷川彩乃
 湘南 金子 美希
 湘南 山本 実莉
 書心 加倉井千紘
 (準初段)
 赤城 岸 貞男
 群鷺 出野 弘文
 湘南 水野美也子
 下妻 根本 拓龍
 湘南 伊藤みどり
 遊鷺 三枝 頼子
 湘南 田中千津子
 湘南 廣島 好葉
 赤城 須田 瑞雪
 書心 橋本 智子

頌門 菅沼 峰子
 湘南 藤澤 好子
 下妻 岡本 清光
 書心 齊藤 綾
 湘南 平田 文枝
 水戸 帆子
 湘南 小嶋 妙子
 湘南 額田 園子
 高萩 紺田 太一
 赤城 高橋 奈津
 書心 吉川 幸江
 (二級)
 湘南 鈴木喜代子
 富士 富士日香梨
 高萩 鷺野 翔
 (三級)
 湘南 實三澤 米子
 高萩 鷺谷 陸
 湘南 西井 可奈
 湘南 歌川 真実
 (四級)
 青葉賞高島 結愛
 (五級)
 高萩賞相川 真吾
 高萩 坂内 匠
 書心 小口 信石
 (七級)
 書心 賞莊司由美子
 書心 寺島 芳三
 (七級へ)
 書心 小池 折洋
 湘南 峯田つり子
 (今月漢字規定部)

1級での昇級はあ
りません

漢字随意部

【成家】
【準成家】
【教範】

熊澤 利堂
細谷 孝石
友部 聴涛
宮川 和巳
小松 秋香
雨谷 妙花
西山 芳潤
堀江 晴秋
角田 紫舟
松本 祥石
金子 丹桂
清水 景苑
【準教範】
大竹 泰石
塩谷 史泉
【師範】
申田 逢春
一ノ瀬利風
大塚 翠山
大塚 秀次
小泉 頌佳
前田 清花
和田 春水
須田 邦道
鈴木 輝湖
木内 清秀
柳下 彩花
高林 雄石
須田喜由洞
福田 千夏
齊藤 香花
阿部 翠石
檜山 美風

【師範格】

柴田 玉鮮
片山 豊水
朴 清心
道口 恵祥
並川 彩春

【準師範】
石川 國博
富士 貴香
鈴木 直樹
登坂 義峰
土田 幸苑
堀 佳泉
鈴木 恵舟
梅野 頌蘭
富澤 静流
井関 真彩
佐藤 幸翠
相澤 みや
大森 君花
伊藤 唯志
林 光子
金子 輝翠

【準師範】

川村 律香
長谷川紀舟
松本 清琴
鈴木 栖娃
森島 翠峰
兒玉 華泉
長嶋 清芳
梶 雅生
友澤 和美

【四段】

四十物幾代
秋山 香泉
東 智香
田谷 俊石
栗田 小菊

【五段】

笹生 和美
岡村 道代
淡谷 菊舟

【二段】

立原 慶子
齊藤 清絵
矢次富士子
葉山 裕子

【五段】

君野 爽神
根本 昌香
中尾 真美
高部 清風
小熊 幸泉
海老原秀岳

石川 恭央
加藤 芳翠
齋藤 隆雲
飛田 祥花
赤間 花林
石丸 芳蘭
宮崎 萩舟
福村 恵子
小林 恵子

【準五段】

若林 紫季
岩持 紫香
半澤 聡子
生井沢康代
草柳 裕子
飛座 敏子
石丸 花林
赤間 祥花
飛田 祥花

【四段】
四十物幾代
秋山 香泉
東 智香
田谷 俊石
栗田 小菊

【二段】

山田 礼子
宮本 孝子
柴崎 漢秋
秋山 美希
山本 実莉
金子 美希
長谷川彩乃

【初段】

安孫子利也
安島 澄子
井上 笑月
松永 美峰
松永 美峰

【二段】

岸 貞男
三枝 頼子
根 爽香
鈴木 直樹
登坂 義峰
土田 幸苑
堀 佳泉
鈴木 恵舟
梅野 頌蘭
富澤 静流
井関 真彩
佐藤 幸翠
相澤 みや
大森 君花
伊藤 唯志
林 光子
金子 輝翠

【二段】

高梨 朱玉
大山 美册
愛媛 光
川上 花野
黒澤 光明

【二段】

原 慶子
齊藤 清絵
矢次富士子
葉山 裕子

賞三澤 米子
西井 可奈
歌川 真実

【三級】

賞小口 信石
賞小口 信石

【四級】
賞小口 信石
賞小口 信石

【五級】

賞小口 信石
賞小口 信石

【六級】

賞小口 信石
賞小口 信石

【七級】

賞小口 信石
賞小口 信石

【初級】

鈴木喜代子
額田 園子
藤澤 好子
伊藤 妙子
小嶋 文枝
生田 文枝
廣島 好葉
田中千津子
岡本 清光
齊藤 綾
吉川 幸江
水野美也子
橋本 智子
郡司 博
三澤 順子
安部 秀石
主演 花野
上 光
黒澤 光明

【二段】

立原 慶子
齊藤 清絵
矢次富士子
葉山 裕子

小泉 頌佳
安島 澄子
松本 清琴
根本 拓龍
池田 妙川
鈴木 邦道
長谷川紀舟
田谷 俊石
宮崎 芳蘭
郡司 博
飛座 敏子
松山 香泉
海老原秀岳
角田 紫舟
吉川 幸江
梅野 頌蘭
小林 恵子
木内 輝湖
石川 恭央
相澤 みや
松永 翠峰
森島 翠峰
朴 清心
生井沢康代
中山 清香
小松 清花
高岸 公子
須田 春水
福村 萩舟
兒玉 華泉
鈴木 栖娃
園村 道代
井関 真彩
平 帆手
金子 和巳
片山 豊水
草柳 裕子
立原 慶子
池田 清華
廣島 好葉

【秀位】

榎山 美風
一ノ瀬利風
四十物幾代
根本 爽香
君野 頌蘭
石川 國博
大塚 秀次
細谷 孝石
富士 貴香
西山 暁秋
長嶋 清芳
梶 雅子
福田 千夏
登坂 義峰
次次富士子
道口 恵祥
伊藤 唯志
大塚 翠山
塩谷 彩花
中尾 真美
和田 玉泉
阿部 泰石

【優位】
長嶋 清芳
梶 雅子
福田 千夏
登坂 義峰
次次富士子
道口 恵祥
伊藤 唯志
大塚 翠山
塩谷 彩花
中尾 真美
和田 玉泉
阿部 泰石

【佳位】

天竹 泰石
阿部 翠石

漢字臨書部

1級での昇級はあ
りません

宮本 孝子
飛田 祥花
土田 幸苑
佐藤 幸翠
赤間 梨香
東 智香
松本 白舟
石丸 花林
須田喜由洞
林 光子
金子 輝翠
川村 律香
井上 淑泉
栗田 小菊
加藤 芳翠
堀 佳泉
小池 折洋
黒澤 光明
岡本 美光
大山 清光
齋藤 隆雲
富澤 静流
柳 龍仙

【規定違反】

規定違反
柳 龍仙

【課題違い】
友澤 真弓

【推薦】

小松 秋香
西山 暁秋
大竹 泰石
丹桂 光

【特選】

富澤 静流
須田 春水
松本 彩花
池田 妙川

【師範格】

柴田 玉鮮
片山 豊水
朴 清心
道口 恵祥
並川 彩春

【準師範】

石川 國博
富士 貴香
鈴木 直樹
登坂 義峰
土田 幸苑
堀 佳泉
鈴木 恵舟
梅野 頌蘭
富澤 静流
井関 真彩
佐藤 幸翠
相澤 みや
大森 君花
伊藤 唯志
林 光子
金子 輝翠

【準師範】

川村 律香
長谷川紀舟
松本 清琴
鈴木 栖娃
森島 翠峰
兒玉 華泉
長嶋 清芳
梶 雅生
友澤 和美

【四段】

四十物幾代
秋山 香泉
東 智香
田谷 俊石
栗田 小菊

福田 千夏
長谷川紀舟
中山 清香
小泉 頌佳
堀 佳泉
一ノ瀬利風
鈴木 恵舟
井関 真彩
相澤 みや
森島 翠峰
大塚 秀次
林 光子
金子 輝翠
川村 律香
梅野 頌蘭
兒玉 華泉
石川 國博
川村 律香

【天位】

根本 昌香
赤間 梨香
中尾 真美
石丸 花林
君野 爽神
富澤 静流
園村 道代
海老原秀岳
福村 萩舟
柳 龍仙
松本 白舟
東 智香
高岸 公子
高谷 菊舟
栗田 小菊
田谷 俊石
加藤 芳翠
齋藤 隆雲

【(地)位】
安島 澄子
金子 美希
齊藤 清絵
菅沼 峰子
西井 可奈

【(天)位】

根本 昌香
赤間 梨香
中尾 真美
石丸 花林
君野 爽神
富澤 静流
園村 道代
海老原秀岳
福村 萩舟
柳 龍仙
松本 白舟
東 智香
高岸 公子
高谷 菊舟
栗田 小菊
田谷 俊石
加藤 芳翠
齋藤 隆雲

【(地)位】

安島 澄子
金子 美希
齊藤 清絵
菅沼 峰子
西井 可奈

【(地)位】

安島 澄子
金子 美希
齊藤 清絵
菅沼 峰子
西井 可奈

【(地)位】

安島 澄子
金子 美希
齊藤 清絵
菅沼 峰子
西井 可奈

【(地)位】

安島 澄子
金子 美希
齊藤 清絵
菅沼 峰子
西井 可奈

【(地)位】

安島 澄子
金子 美希
齊藤 清絵
菅沼 峰子
西井 可奈

三澤 順子
矢次富士子
大山 美册

かな半紙部

西山 暁秋
熊澤 利堂
小松 秋香
伊藤 唯志
塩谷 孝石
金子 丹桂
阿部 翠石
森島 翠峰

【師範】
小松 秋香
伊藤 唯志
塩谷 孝石
金子 丹桂
阿部 翠石
森島 翠峰

【師範格】

柴田 玉鮮
片山 豊水
朴 清心
道口 恵祥
並川 彩春

【準師範】

石川 國博
富士 貴香
鈴木 直樹
登坂 義峰
土田 幸苑
堀 佳泉
鈴木 恵舟
梅野 頌蘭
富澤 静流
井関 真彩
佐藤 幸翠
相澤 みや
大森 君花
伊藤 唯志
林 光子
金子 輝翠

【準師範】

川村 律香
長谷川紀舟
松本 清琴
鈴木 栖娃
森島 翠峰
兒玉 華泉
長嶋 清芳
梶 雅生
友澤 和美

【四段】

四十物幾代
秋山 香泉
東 智香
田谷 俊石
栗田 小菊

【五段】

笹生 和美
岡村 道代
淡谷 菊舟

【二段】

立原 慶子
齊藤 清絵
矢次富士子
葉山 裕子

学生部

学生臨書部

岡村 道代

【準三段】

川村 律香

赤間 梨香

渋谷 菊舟

【準二段】

石丸 花林

小泉 幸泉

【初段】

小泉 頌佳

須田喜由洞

【準初段】

岸 貞男

大塚 秀次

郡司 博

伊藤みどり

一ノ瀬利風

草柳 裕子

根本 昌香

富士 貴香

飛座 真樹

梅野 頌蘭

根本 拓龍

立原 慶子

廣島 好葉

須田 瑞雪

柳 龍仙

片山 豊水

【二級】

齋藤 隆雲

【三級】

賞秋山 漢秋

【四級】

賞齊藤 清絵

【五級】

益子 蒼弥

【六級】

金沢 夢来

【七級】

満仲 彩絵

中島 篤啓

大木 春佳

中山 瑠音

加藤木遥菜

小嶋 春菜

大友 杏

大西 夢月

中西 逢恋

【最高秀生】

鈴木 瞳

仙波 菜穂

小島 悠雅

今野 朱美

渡邊さくら

高島 結愛

【準二段】

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

大木 春佳

中山 瑠音

加藤木遥菜

小嶋 春菜

大友 杏

大西 夢月

中西 逢恋

【最高秀生】

鈴木 瞳

仙波 菜穂

小島 悠雅

今野 朱美

渡邊さくら

高島 結愛

【準二段】

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

大木 春佳

中山 瑠音

加藤木遥菜

小嶋 春菜

大友 杏

大西 夢月

中西 逢恋

【最高秀生】

鈴木 瞳

仙波 菜穂

小島 悠雅

今野 朱美

渡邊さくら

高島 結愛

【準二段】

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

大木 春佳

中山 瑠音

加藤木遥菜

小嶋 春菜

大友 杏

大西 夢月

中西 逢恋

【最高秀生】

鈴木 瞳

仙波 菜穂

小島 悠雅

今野 朱美

渡邊さくら

高島 結愛

【準二段】

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

大木 春佳

中山 瑠音

加藤木遥菜

小嶋 春菜

大友 杏

大西 夢月

中西 逢恋

【最高秀生】

鈴木 瞳

仙波 菜穂

小島 悠雅

今野 朱美

渡邊さくら

高島 結愛

【準二段】

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

大木 春佳

中山 瑠音

加藤木遥菜

小嶋 春菜

大友 杏

大西 夢月

中西 逢恋

【最高秀生】

鈴木 瞳

仙波 菜穂

小島 悠雅

今野 朱美

渡邊さくら

高島 結愛

【準二段】

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

大木 春佳

中山 瑠音

加藤木遥菜

小嶋 春菜

大友 杏

大西 夢月

中西 逢恋

【最高秀生】

鈴木 瞳

仙波 菜穂

小島 悠雅

今野 朱美

渡邊さくら

高島 結愛

【準二段】

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

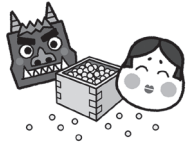
高島 結愛

高島 結愛

高島 結愛

高島

【五段】	◆村田 唯愛	【初段】	◆武田芽依奈
【四段】	◆鴨志田隼也	【二段】	益子 采音
【三段】	◆金沢 幸來	【一段】	熊谷 嘉純
【準初段】	◆中西 創英	【初段】	深作 奏羽
【二段】	賞宮田 愛來	【初段】	入野 天音
【一段】	賞鳴海 絢音	【準初段】	関口 心優
【準初段】	賞宮田るうな	【準初段】	◆種村 希香
【二段】	石川 凜	【準初段】	飛田 真奈
【一段】	賞名和優希菜	【準初段】	関根 愛華
【準初段】	○伊部 蒼琉	【準初段】	會澤 椋子
【二段】	中井川心祐	【準初段】	賞志柿 優夏
【一段】	金 遥斗	【準初段】	賞野沢 悠人
【準初段】	稲橋 咲來	【準初段】	賞菊地恵里花
【二段】	賞白水りのん	【準初段】	賞菊地恵里花
【一段】	○神生 萌那	【準初段】	賞菊地恵里花
【準初段】	福岡 蒼有	【準初段】	賞菊地恵里花
【二段】	村田 茉穂	【準初段】	賞菊地恵里花
【一段】	賞大場健太郎	【準初段】	賞菊地恵里花
【準初段】	【七級へ】	【準初段】	賞菊地恵里花
【二段】	賞飯村 琉真	【準初段】	賞菊地恵里花
【一段】	関根 優衣	【準初段】	賞菊地恵里花



平成三十一年度拓美行事予定

※拓美学生部書き初め誌上展

。作品×切 平成三十一年二月一日(金)

。発表 表 平成三十一年四月号予定

。対象者 中学生以下幼年部

※平成三十一年度前期昇格試験

。作品×切 平成三十一年四月三日(水)

。発表 表 平成三十一年六月号

※二〇一九年度拓美会書道展(展示形式)

。会 期 二〇一九年八月三日(土)

。会 場 日立教育プラザ

(JR常磐線日立駅下車徒歩15分)

日立市神峰町一六〇一

〇二九四一三三一九一〇〇

ギャラリー係

。作品×切 二〇一九年七月三日(水)

。対象者 拓美会々員 拓美誌友(高校生以上一般部)

※二〇一九年度拓美会書道展祝賀会・拓美誌友懇親会

。日 時 二〇一九年八月三日(土)

午後三時半より

。会 場 日立ホテル天地閣

※二〇一九年度拓美学生部夏休み誌上展

。作品×切 二〇一九年八月十日(土)

。対象者 中学生以下幼年部

。発表 表 二〇一九年十月号

※二〇一九年度後期昇格試験

。作品×切 二〇一九年十月三日(木)

。発表 表 二〇一九年十二月号

※各日程・内容共に変更になる場合もあります。

2019年度 拓美学生部 書き初め誌上展 作品募集

誌上展を開催致します。御協力下さいます様お願い申し上げます。個人応募も可能です。
出品資料は新年号と共に送ります。

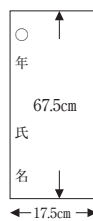
学 生 部

応募対象 中学生以下の学童及び幼年も含む

出品料 一、三〇〇円(税込み)

作品しめきり 平成三十一年二月一日(金) 本部必着

作品の大きさ



小雅仙紙半切の1/4大
大きさは厳守して下さい。

表彰 審査の結果成績優秀作品には次の賞を授与します。推薦、特選、金、銀、銅、佳作など多数。

作品課題 自由とします。

発表 表 平成三十一年四月号予定。

※賞品・賞状の返送に宅配便を希望の方は、
〇〇〇円を加算して下さい。

※成績優秀者拓美誌昇格推薦編入制度導入
成績優秀者には、推薦により拓美誌での昇格が可能となります

【交】



画数 6
 筆順 一六交交
 オン コウ
 クン かIIウIIわす
 まIIざるIIじるIIせる
 まじIIえるIIわる

「人がりよ足を、交え、たかたちをあらわした字で、「ものを交える」こと、「ものが交わる」こと、「ものが交じる」こと。交ざる。こと。「ものをまぜる」ことをあらわした字です。
 また、「人が行き交う」こと、「ものをとり交わす」ことなどのいみにもつきます。

【家】



画数 10
 筆順 一ハナ守家家
 オン ケカ
 クン いえ
 や

「豚のすむ家」といういみの字ですが、いまは「人のすむ家」のいみにつかわれています。
 じぶんのすけんそんして、豚兒(豚の子)、というように、じぶんの家をけんそんして、家(豚の家)、といつたものとおもわれます。

【売】



画数 7
 筆順 一士止売
 オン バイ
 クン うIIるIIれる

もとの字は、賣(で、出と、買)とをくみあわせてつくった字です。
 「買ってもらうものを出す」もしくは「買手にさし出す」といういみの字で、うることをあらわしたものです。

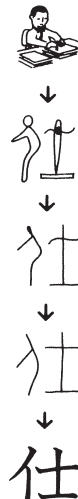
【商】



画数 11
 筆順 一ナ商商
 オン ショウ
 クン あきなIIう

ウと読まれました。また、このころは、みやこ、の名前が国の名前でもありました。この国がほろびますと、商人たちの多くは、あきないにしがいましたので、あきないする人のことを「商の人」といいます。
 高くて大きな、きゆうでん、の形をあらわした字で、みやこ、のいみをあらわした字です。中国で、漢字がはじめて作られたころの、みやこ、の名前は、シヨウ、といいましたので、この字はシヨウ

【仕】



画数 5
 筆順 ノイ仕仕
 オン ジ
 クン つかIIえる

「十と、一」を組み合わせ、「十から十までのことを知りつくした人」である、役人(やくにん)といういみの、士と、イ、とを組み合わせで作った字です。
 「人が、役人」となつて、つかえる」ことをあらわした字です。つかえる、とは、目上の人や、社会の人のために、用をさす、ことです。

【玉】



画数 5
 筆順 一丁王玉
 オン ギヨク
 クン たま

おおくは、みがいて、まるとたま、につくりまですので、たま、といういいかたをするようになりまし。三つ、の、たま、をひもでおし、たかたちの字です。「かたくうつくしい石」(ぎよく)をあらわした字です。玉、といひます。
 王(おう)では、玉(たま)の、王(おう)とくつつがつかないで、たま、のしるしの、を、つけて、玉、としました。しかし、へんのときは、王(おう)で、を、つけません。よむときは、王(おう)といひ、玉(たま)といひます。

【犬】



画数 4
 筆順 一ナ犬
 オン ケン
 クン いぬ

「ケンケン」というなきごえをあらわしたものとおもわれます。
 犬、はひとにいちばんみつせつなせつなぶつなので、この字のへんけいした、き、は、けものへん、といつて、けもの、のいみをあらわすのにつかわれています。

【子】



画数 3
 筆順 一了子
 オン シ
 クン こ

りょうあしがおむにつつまれた、あか子、のかたちをあらわした字で、あか子、おさな子、といういみをあらわしたものです。
 子(こ)もす、むすめ、のいみにつかいます。また、ちいさい、ものですから、ちいさい、といういみにもつきます。

今月号の課題

陶淵明詩

讀山海經

山海經を読む

【釈文】 【読み方】

孟夏草木長 孟夏 草木長し

繞屋樹扶疏 屋を繞りて樹は扶疏たり

衆鳥欣有託 衆鳥は託する有るを欣び

吾亦愛吾廬 吾れも亦た吾が廬を愛す

既耕亦已種 既に耕し亦た已に種え

時還讀我書 時に還た我が書を読む

窮巷隔深轍 窮巷は深き轍を隔つるも

頗回故人車 頗る故人の車を回らさしむ

(後略) 全文は平成三十年七月号・十二月号をご参照下さい。

【意味】

いまはもう初夏、草木も伸びて、我が家を取りまく木々は、ふさふさと茂っている。

かくて鳥どもは、身を寄せるすみかのできたのをよろこんでいるが、私は私で、この住居が気に入っている。

耕すことも終え、また植えつけも終わると、時には我が所蔵の書物をひろげることがある。

せまく貧しいこの路地は、深いわだちをつけるお上の車とはずっと無縁だけれど、気の合うなじみの連中は、わざわざ車の向きをかえて、よくこの家を訪ねてくれる。

平成三十一年二月清書作品

締切日変更についてのお知らせ

平成三十年二月清書×切を諸般の事情により二月十九日(火)正午とします。

○郵送の方……二月十八日(月)迄にご発送下さい。

○宅配の方……二月十八日(月)迄にご発送下さい。

○本部持参の方……二月十九日(火)午前中までにご持参下さい。

※審査作業は十九日(火)正午より開始します

編集後記

◇毎年ですが年末の大変忙しい中、平成三十年最後の審査会となりました。ご協力下さいました内員の方々のご尽力に感謝致します。

◇平成三十一年年間行事をP35に発表しております。拓美展は平成三十年は都合により中止となりましたが、三十一年は八月三日(土)～四日(日)の開催予定です。会場予約の関係で正式には四月号(三月中旬発行)にて発表する予定です。

◇P26～29には平成三十一年前期昇格試験応募

群鷺書道会本部の営業時間

平日 10:00～16:30
土曜 10:00～12:00
定休日 日曜日、祭日

◆購読冊数の変更や電話での問い合わせは、上記の時間内とさせていただきます。
◆月例作品の手持の方も時間内をお願いします。

◆お願い◆

名前4文字の方
日 立 太 郎
名前5文字の方
日 立 あ ゆ み
名前6文字の方
日 立 た け ひ こ

出品券の記入の仕方
出品券は(左図参照)楷書で記入し、左下にピラの様につけること。
あなたが記入された出品券が印刷所へ行きます。
(条幅・半紙共に)
※注意と協力下さい
左端に垂らす

審査会出席者(順不同・敬称略)

国井 玉泉 一ノ瀬利子 君野 爽神
大塚 秀次 細谷 孝石 富士 貴香
小沼 侑香 小沼 典弘

関係を掲載しております。結果の善し悪しに関係なく書き込んで出品して下さい。

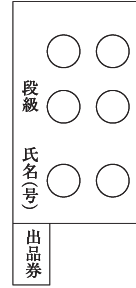
◇本号が届く頃には謙慎書道会展の作品創り、日本の書展茨城展の書き込みが続いている頃と思います。自己研鑽の場として勉強して下さい。

◇本年は「災」が代表する年になってしまいました。平成から年号が変わる二〇一九年は災いを転じて福となすのことわざの如く「福」の文字になることを願うばかりです。私自身を一年前向きに過して行きたいと思えます。暖冬と言われていましたが、徐々に寒さが強くなって来ました。ご自愛下さい。

返本は受付けません。必要部数は前月末までにご通知下さい。ご通知ない時は前月通り送本いたします。

清書出品のご注意

- ▽出品する清書は、半紙版（たて三三・五センチ、よこ二四・四センチ）の白い紙にかくこと。着色してある紙や特殊な大きさの紙は使用しないで下さい。写真版にできません。
- ▽作品は左のひな型のように、支部名または地名、段級と氏名（号）をかいて、その月の出品券を垂してはって下さい。



- ▽出品券は誤りのないよう、段級の漏れがないか、出品する前にもう一度確かめて下さい。
- ▽出品券のはつていない作品は、審査の対象外となります。
- ▽出品券を紛失した場合は、別途御購入下さい。
- ▽清書の締切は、毎月二十四日です。締切に遅れますと、審査に入りませんから、郵送の場合は、二十一日・宅配の場合には二十二日迄に早目にご送下下さい。
- ▽初めて出品される方は、級位のところ「新」とし、二回目の方は編入された級を記入して下さい。賞・〇印のついた方は昇級ですから、次の出品から上の級をかくこと。再入会者の出品は、もとの段級で出して下さい。
- ▽随意へは二回目より出品下さい。漢字規定部・随意部・条幅部・臨書部の段級位は共通、かな半紙部・かな条幅部の段級位は共通となり、漢字部・かな部・ペン字部では段級位が異なりますのでご注意下さい。
- ▽清書のなかに、誌代および添削または請求などの用件は入れないで下さい。
- ▽清書の送り先は、「三六〇〇三日立市多賀郵便局私書箱七号、群鷺書道会」、封筒の左側に「何月分作品在中」とかいて下さい。

三月号 予告

一般規定	顔回故人車	小学六年	色めく野山
中学部	野原の春光	小学四年	土に親しむ
小学五年	春雨がふる	小学二年	花ぐもり
小学三年	ももの三月	小学一年・幼年部	いし

入会のご案内

入会希望者は、住所氏名を明記し半年分誌代三、九〇〇円をそえ「日立市多賀郵便局私書箱七号群鷺書道会」宛御申込み下さい。送金に際してはかならず新入継続の別を明確にし何月号より送本を明記して下さい。
前納代金は、如何なる場合といえども充当又は返金致しませんのでお含み下さい。

支部規定

- ▽同一地方に十一名以上の会員がまとまれば支部を設けることができます。
- ▽支部員が十一名をこすごとに、支部長または幹事分として一部免除します。
- ▽本会から直接個人へ配本を要する場合は、支部より除外し個人会員として取り扱う。
- ▽支部長は会員の異動、発行該当号の部数などに変更のあるときは、発行時の前月の五日までに到着するよう本部へ届け出下さい。拓美は毎月五日翌月の部数を定めますので会費が遅れると雑誌の行き渡らないときが生じます。
- ▽支部は支部長を通じ、随時有段者の作品を請求することができます。（ただし請求の際は切手をはった大型封筒を同封し本部宛申し込み下さい。）
- ▽新設支部のときは所在地、支部名、支部長名、会員名簿をそえて、三ヶ月以上の誌代前納後支部規定に準ずるものとします。

清書添削規定

- ▽添削手数料……半紙一枚につき 五五〇円（税込）
 - 条幅一枚につき 一一〇〇円
 - 半紙一枚につき 一一〇〇円
 - 半紙コピー一枚につき 二〇〇円
 - 条幅一枚につき 四四〇〇円
- 添削を受けるには本会添削券一枚につき清書三枚までとし、返送用封筒（表面に自分の宛名を認め切手をはったもの）及び前記添削手数料（切手でも可）を同封し、失礼にならぬよう直接ご送付下さい。

誌代（送料含）

見本	六五〇円
半年	三、九〇〇円（前納）
一カ年	七、八〇〇円（前納）

（誌代の変更もあります）

添削担当先生（敬称略） （順不同）

- 漢字・硬筆担当
- ※仮名担当
- ◎漢字・仮名担当
- △ペン字担当

三六〇〇一	日立市諏訪町四一三七一十二	※国井	玉泉
三〇〇八五	水戸市平須町一八二七一七	○大橋	景石
二七〇二四二	船橋市小室町二九〇六	原田	香蕉
三〇一三五	ひたちなか市釈迦町一―三八	○大橋	素石
三三〇六三	ひたちなか市田彦六七九―三	小林	研石
三七八〇四二	群馬県沼田市西倉内町六〇六一二	熊澤	利堂
三三二〇二	ひたちなか市馬渡二五二五―三九二	丹野	榴華
三六〇〇三	日立市多賀郵便局私書箱七号	群鷺書道会	

氏名